



成果指標				
成果指標	子育て支援センター登録児数			
指標設定の考え方	核家族化・コミュニティの希薄化により、子育てに関する悩みを持つ保護者が増加状況にあり、相談体制の充実と連携強化は不可欠となってきたため、子育て支援センターへ登録児数を成果指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	350	350	350	350
実績	350	348	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	子ども・子育て支援事業計画に定める事業の一つであり、今後も子育て支援に関するニーズを把握し、事業展開していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	子育て世代への支援を進めながら、ニーズを的確に把握し事業内容の検討を繰り返す必要がある。また、それぞれの地域にあった支援体制を構築することも大切であるとする。現在実施している、療育部門においても研究を行い子ども総合センターとの連携の下、子育て支援を進めていくことが重要であると認識している。今後は、子育て世代包括支援センターへ移行することへの調査研究・検討を進め、保健センターと連携を取り事業内容の充実に努めていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	子ども総合センターと連携し効果的に事業を推進しており、今後、子育て世代包括支援センターへの移行を視野に一層の事業推進を図る。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ、さらに重点化すること。